

1時間毎のくるくるバスなぜやらない＝公共交通計画策定 4億円の基金で介護保険料引下げを＝第9期計画策定

碧南市内無料巡回バス

くるくるバス

32 平山町

時刻表

1便	7:34
2便	9:10
3便	10:35
4便	13:31
5便	16:27

●2便目はパープル（むらさき色）のバスが走ります。

くるくるバス

32 平山町

時刻表

1便	8:45
2便	11:41
3便	14:40
4便	16:01
5便	17:39

●4便目はパープル（むらさき色）のバスが走ります。

運行経路

公募委員が「1時間ごとやれないのか」と

地域公共交通活性化協議会は、くるくるバスの拡充を検討する場所」と言ってきた中、2022年4月18日の第一回から2023年11月6日まで6回の会議をへて「交通計画」をまとめました。

市民は18人中4人だけ

委員は、四日市大学岩崎恭典学長、国・県・バス会社・タクシー会社・現在のくるくるバス委託会社・名鉄バスと電車、警察、市部長など市外の役職者が14人。市民は4人、うち公募は1人です。公募の委員さんは第1回目に、利用者の意見を聞いてきた。バスの降車スイッチの位置や、乗降時のステップの高さが高い。バスの本数を1時間に1本に増やしてほしい。バスに対しての意見箱を市民病院などに設置してほしい。市民病院に直通バスが欲しいなどの意見をいただいていたのでお願いしたい。」と発言

されました。最終日も、碧南市議会の議会報を持って、岡本守正議員が、「1時間ごとくるくるバスを」と求めているが、「やらないのか」と指摘しました。

アンケートでも本数増は51.2%

くるくるバスへの要求は、CS地区ミーティングでも各地で出ています。しかし担当部長は「民業をおびやかす」などと平然と答弁。碧南市には南北の名鉄電車と、くるくるバスしか市内の移動手段がないことも直視していません。

それでも商工課 要求はない」と

商工課職員も部長も「1時間1本の要求はない」と言い放っています。公募委員は利用者や市民の声を届けてくれました。有料を掲げた作爲的なアンケートでも本数増が要求されています。聞く耳なし」の市当局と地区ミーティングで「いつまでも車に乗って」と自己責任と言わ

平山停留所3〜4時間間隔

専真は西端の平山バス停です。青色バスは始発も2便も次が約3時間後。緑色も3便4便の後は3時間あととなっています。76歳の住民は、夫婦で自転車。バスをもっと便利にして」と切実な声を寄せられました。

介護保険料引下げを

第9期介護保険計画は、令和5年7月24日から10月27日まで5回の会議を開催。6回目は中止してしまいました。19人の委員さんですが、保険料引下げや減免制度の拡充の声はあがりま

せんでした。保険料はパブリックコメントのあとの1月25日の介護運営審議会にて提案されます。物価高騰のなか年金は減り高齢者のくらしは大変です。発足以来保険料は2倍に。岸田内閣は、非課税者に7万円の給付金や所得税1年だけの4万円減を言っていますが、焼け石に水と国民の怒りが広がっています。4億円の基金をつかえば、1人1月6500円の引き下げが可能です。介護保険料引き下げの声をあげましょう。

市民の声届けましょう パブリックコメントへ
1時間ごとのくるくるバス
12月18日から1月18にちまで
介護保険引下げ・減免拡充の声を
12月15日～1月15日まで



岡本守正 議員 福祉健康委員会の視察報告

10月16～18日まで、福祉健康委員会の視察に参加したので報告します。

東京都文京区

PFSを活用した認知症検診事業について

PFSとは「成果運動型民間委託契約方式」のことです。文京区では、認知症の普及啓発と早期支援のため、エーザイ株式会社との委託契約により認知症検診事業を実施しています。令和4年度から、官民一体で社会的課題の解決を目指す新たな仕組みとして、委託契約の一部に成果運動型民間委託契約方式（PFS）を導入し、民間独自の取り組みを入れることで、より成果の高い事業の実現を目指しています。文京区は、2020年度から診断後支援事業を開始。令和4年度には、55歳・60歳・65歳・70歳・75歳の節目ごとに、区民12,292名を対象に、自宅での実施者数1,188人、会場での測定者611名を検査。医師による認知機能の低下の疑いなしが375名、認知機能低下の疑いあり55名でした。このうち、医療機関連絡書発行数は40名でした。市民からは、回数を3年に1回に増やしてと広がっています。碧南市は高齢介護課のホームページに自己診断テストが2018年度から掲載。アクセス数は2022年度で2,658件となっています。介護認定者約3,000人のうち、6割が認知傾向があると言われている。民間調査でなく、介護の専門性と地域のネットワークを活かして早期発見と対応

碧南市の介護保険の状況 (2023.3月末現)

人口	72,756	
65歳以上人数	17,459	24
認定者数	2,973	16.7
要介護5	239	
要介護4	408	
要介護3	398	
要介護2	467	
要介護1	518	
要支援2	501	
要支援1	442	

発見と対応

新潟県魚沼市 公設小出病院の民営化について

魚沼市は人口34,046人、面積946.76km²です。県立病院として平成17年に一般253床＋精神130床、計383床から、翌18年には、一般230床＋精神100床の計330床に。魚沼市立小出病院に名称変更、病床数は、一般90床になりました。平成29年には療養病床44床を加え134床となりました。魚沼地域の公立病院再編に伴い、平成27年6月1日に開院し、魚沼市が中心となって設立した一般財団法人魚沼市医療公社が指定管理者として運営しています。診療体制は内科、整形外科及び婦人科の常勤医師に加え、専門外来は、新潟大学、魚沼基幹病院等から助働支援。出損金1,000万円のうち、魚沼市700万円、小千谷市、魚沼市医師会100万円、新潟県労働衛生医学士協会100万円、北里研究所100万円で負担し、指定管理者方式としました。

国の地域医療構想で、公立病院の統合、廃止を進めていこうとする中、民営化、指定管理化などで、地域医療が守られるのか、住民の反応が知りたいものです。



一般90床、療養44床
計:134床の魚沼市小出病院

長野県諏訪市 子ども家庭総合支援 拠点すわあゆみス テーションについて

0歳から18歳までの子どもとその家庭等の困りごとに関する総合相談窓口です。子育て、発達、家庭、学校、自立に向けた悩みのほか女性相談（子育てに限らず相談できます）さまざまな専門機関へのつなぎを含めて、困りごとの内容に応じた支援をします。あゆみステーションは、子ども課、教育総務課、社会福祉課、

児童相談所、保健センター、総合福祉センター、児童センター、障害者総合支援センター、医療機関、障害福祉施設、子育て支援施設、教育関係施設をつなぎ、こども課と教育総務課の中に「あゆみステーション」があります。幅広い相談窓口があり、関心いたしました。これなら市民があまり感わず相談ができると感じました。

諏訪市奨学金制度

- 対象
 - 次の要件を全て満たすこと
 - ・諏訪市に居住する人の子弟であること
 - ・成績優秀、品行方正であること
 - ・経済的理由により就学が困難と認められること
- 募集人数
 - ・大学生等支給 月額30,000円（2名以内）
 - ・大学生等貸与 月額30,000円（4名以内）
 - ・高校生支給 月額5,000円（2名以内）

大軍拡・増税許すな

へきなん 19 行動

11月19日（日曜日）午前11時～12時

ピエゴ碧南東店
東浦町6-17（日進小学校南）



<http://hekinan.jcpweb.net/>
日本共産党碧南市議員団のホームページをご覧ください。

日本共産党碧南市委員会



市議会議員 市議会議員 市民運動部長
山口はるみ **岡本守正** **磯貝明彦**
 ☎42-8940 ☎41-5357 ☎48-2718
 三度山町 2-70-4 笹山町 6-29 若松町 3-253